

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	こまきの泉の理念が、職員以外へ知られていない。共有して実践へ繋げる。	入居者様、ご家族様、地域の方々にこまきの泉の理念に沿って支援をさせて頂いている事を知って頂く。	職員には申し送り時、声を出して言って頂き、意志を高めてもらう。ご家族、地域の方々には来設時に会話を通して伝えたり、写真やこまき通信でお伝えする。	12ヶ月
2	35	地震に対する避難訓練が未実施であり、地域と協力体制を築き、対応ができる体制にする。	災害発生時に避難ができる体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 法人での協力内容の設備 地震を想定した避難訓練の実施 町内会との協力内容の整理 	12ヶ月
3	27	個別の記録の記入。職員間で情報を共有できていない事がある。	職員間で情報を共有し、改善点がある時は早急に対応できる。	常に入居者様に寄り添い、様子や気付きを記録に記入する。申し送りをする。	12ヶ月
4	49	予定に組み込まれている外出支援以外に、利用者様の状況や天候等で、その日の個別の外出支援が十分にできていない。	利用者様の状況や希望に応じた個別の外出支援を、臨機応変に取り組むことができる。	その日の状況に応じて職員同士で話し合い、一日の流れを把握する事で個別支援を行えるようにする。	6ヶ月
5	10	入居者様や家族様等の意見、要望を部外者へ知らせ、運営に反映させる。	面会の時でも気軽に話せるように会話の場をもけるよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> こまきの泉通信に写真等を追加 外部の方々には施設内掲示してあるのを見て頂いたり、施設の行事参加を知らせる。 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。